

[第8回目] 運動方程式を解く 2 A : 自由落下

『今日の授業の目標』 運動方程式を解くとはどういうことか

◎ 一定の力が作用するときの運動方程式と

その一直線上を運動するときの解 [等加速度直線運動, 2次関数]

例: 重力のみ → 自由落下

$$F_y(t) = -mg \Rightarrow \text{運動方程式を立てる: } \boxed{ma_y(t) = -mg} \Rightarrow a_y(t) = -g$$

$$\frac{dv_y(t)}{dt} = -g \rightarrow v_y(t) = \int a_y(t) dt = \int (-g) dt = -gt + C_1,$$

$$\frac{dy(t)}{dt} = -gt + C_1 \rightarrow y(t) = \int v_y(t) dt = \int (-gt + C_1) dt = -\frac{1}{2}gt^2 + C_1 t + C_2,$$

$$\text{一般解: } v_y(t) = -gt + C_1, \quad y(t) = -\frac{1}{2}gt^2 + C_1 t + C_2 \quad \text{※ } y \text{ 軸は鉛直上向き}$$

初期条件から任意定数 C_1, C_2 を決定する。 $t=0$ の位置が y_0 , 速度が v_0 のとき,

$$\text{特解: } v_y(t) = -gt + v_0, \quad y(t) = -\frac{1}{2}gt^2 + v_0 t + y_0 \quad \left. \begin{array}{l} \text{※合力が一定 } F_0 \text{ の場合はこの問題} \\ \text{と同じ。} \end{array} \right\} a_y(t) = \frac{F_0}{m}$$

学習到達目標 (4) 自由落下の運動方程式を解くことができる。

次回予定 [第9回目] 運動方程式を解く 2 B : 等加速度運動 (教科書 45~46 ページまで)

*****レポート問題 第8回目 (右側の半分の解答用紙を切り取って提出しなさい)

数値で計算する問題は、答えにも必ず単位をつける !MKS 単位系で答えること !

☆… 問1 本日の授業で学んだことで、重要と思うことをまとめよ。(式も用いてよいが、文章で)

B… 問2 教科書 43 ページの演習問題Aについて以下の問い合わせに答えよ。

① 設問(a)~(c)を答えよ。ただし,

(b) は一般解まで求め、任意定数 C_1 は残しておく、(Step2)

①~③ (c) は一般解まで求め、任意定数 C_1, C_2 は残しておく。(Step3)

は☆ ② 設問(b)と(c)で求めた一般解と、初期条件を用いて、任意定数 C_1, C_2 を決定せよ。また、特解 $y(t)$ と $v_y(t)$ を求めよ。(Step4)

③ 設問(d)~(f)を答えよ。

④ 問い②で求めた特解 $y(t)$ から $v_y(t)$ を求めよ(微分する)。さらに求めた $v_y(t)$ から $a_y(t)$ を求めよ(微分する)。求めた $a_y(t)$ より、 $y(t)$ が運動方程式の解になっていることを確認せよ。

$\left. \begin{array}{l} \text{求めた } a_y(t) \text{ の式を最初に立てた運動方程式に代入し、両辺が等しくなり、等号が成り} \\ \text{立つことが確認できれば、 } y(t) \text{ は運動方程式の解である。} \end{array} \right\}$

⑤ 加速度 a_y , 速度 v_y の時間変化の様子をグラフで表せ。

⑥ 物体の位置 $y(t)$ の時間変化をグラフで表せ。

=====

中間テスト直し 11月30日(月) 13:00まで

提出方法は、小テスト直しと同じ。レポート(宿題)の解答用紙の裏に書ききれない場合は、別紙(レポート用紙など)で提出してもよい(学籍番号と氏名は書くこと)。

中間テストの答案そのものを、直して提出しても加点はしない。再返却もしない。

中間試験欠席者は、テスト直しと同じ要領で提出すれば加点。公欠はさらに+αを考える。

合格するための必須条件: レポート1~2回以上提出、(遅刻なども換算した) 欠席が4回未満

解答用紙 (授業 曜 限) 学籍番号 _____

氏名 _____

数値で計算する問題は、答えにも必ず単位をつける！指示がない限り MKS 単位系で答えること！

☆… 問 1

問 2 ① 図に描け

(a) $F_y(t) =$

①～③



は☆

運動方程式 :

$a_y(t) =$

(b) Step 2 のみを行う。

(c) Step 3 のみを行う。

②

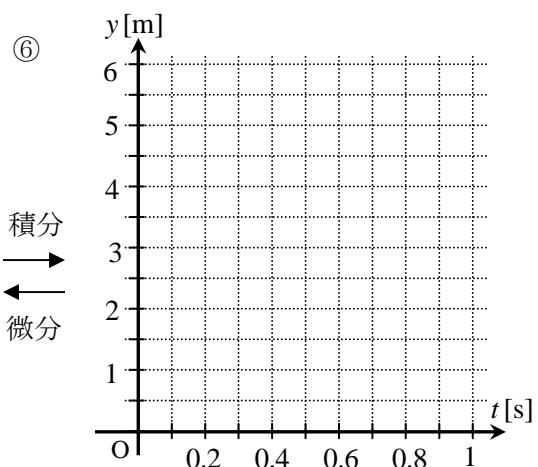
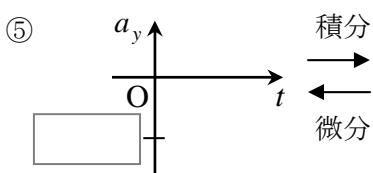
特解 : $y(t) =$, $v_y(t) =$

③ (d)

(e)

(f)

④



☆このレポートをやるために 時間 分,

それ以外に力学 I の予習復習を 時間 分した。